

MEDIA RELEASE

ESR、長期成長戦略への強い支持を受け、 総額 20 億米ドル超のリファイナンスをオーバーサブスクライブで実施

- APAC 主要市場における物流不動産、データセンター及び関連するエネルギーインフラ事業の成長戦略を推進するため、財務基盤の柔軟性を強化
- 2026 年に向けたさらなるレバレッジ削減を通じ、ESR の積極的なバランスシート戦略を推進
- 主要取引銀行によるフルアンダーライト及び多様なグローバルレンダーによる支援を獲得

シンガポール、2026 年 8 月 6 日 – アジア太平洋地域（APAC）に特化したアセットオーナー兼アセットマネージャーの ESR は本日、20 億米ドル規模のサステナビリティ・リンク型リファイナンス・ファシリティを組成したと発表しました。本案件は、世界各国の金融機関による強い需要を受け、当初予定していた 20 億米ドルから増額して実施されたものであり、ESR の長期的な成長戦略に対する高い評価と信頼を示すものです。

今回のリファイナンスにより、ESR は物流不動産、データセンター及び関連するエネルギーインフラ分野における成長施策をさらに推進します。ESR は積極的な資本管理戦略の一環として、2025 年に約 11 億米ドルの純有利子負債削減を実施しました。さらに 2026 年にはさらなるレバレッジ削減を目指しています。

ESR Chief Financial Officer（最高財務責任者）のマシュー・ローソンは、次のように述べています。

「今回のリファイナンスは、ESR が長期的な成長に向けて体系的に資本管理を実践していることを明確に示すものです。案件がオーバーサブスクライブとなったことは、ESR の戦略に対するレンダーの強い信頼感を裏付けるものであり、物流不動産やデータセンター分野における成長機会を着実に捉えるための基盤となります。ESR に対する継続的なご支援とご信頼に感謝いたします。」

本案件には、多様な国際金融機関が参加し、HSBC、みずほ銀行、カタール・ナショナル・バンク（Q.P.S.C.）シンガポール支店、UOB、Maybank、OCBC を含む主要なグローバル及び地域金融機関によってフルアンダーライトされました。

期間 5 年のサステナビリティ・リンク型リファイナンスにより、複数の既存融資契約を複数通貨対応の単一ストラクチャーへ統合するものです。また、APAC における既存取引パートナーとの強固な関係に加え、欧州及び中東地域における新規・拡大した取引を通じて、ESR の資金調達基盤の一層の多様化を実現します。

今回のリファイナンスは、ESR が事業の簡素化を進めるとともに、APAC 有数のプラットフォームを基盤として、物流不動産及びデータセンター事業の成長に注力する戦略を支えるものです。こうした取り組みにより、ESR は長期的な成長機会を捉え、資本パートナー及び顧客に対する価値創出の拡大を目指します。

###

ESR について

ESR は、デジタル経済とサプライチェーンを支える物流不動産及びデータセンターに特化した、アジア太平洋地域を代表する実物資産のアセットオーナー兼アセットマネージャーです。当社は、日本、中国、韓国、インド、東南アジア諸国、オーストラリア、ニュージーランド、ヨーロッパにおいて、時代の変化を先取りした最先端の不動産市場を提供しています。ファンドのマネジメントと開発の完全一体型プラットフォームを通じて、投資家の皆様のグローバルなポートフォリオに価値と成長機会を創出します。また、「持続可能な未来のための空間と投資のソリューション」というパーパスのもと、お客様、株主、地域社会などすべてのステークホルダーに対して長期的な利益の成長を目指しています。詳細は www.esr.com をご覧ください。

本リリースに関するお問い合わせ先

ESR 株式会社

マーケティング&コミュニケーションズ：

ディレクター 齊藤陽一郎

Tel: (代表) 03-4578-7134

jpn_pr@esr.com

ESR 広報代理 (CDR)

ESRAsia@cdrconsultancy.com